

【イノベーション研究科】

修了認定・学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

<専門職学位課程>

技術経営専攻、知的財産戦略専攻においては、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を有する人材を育成し、次のような能力を持った高度専門職業人を社会に送り出すことを目的とし、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定し、修士(専門職)の学位を授与する。

- (1) 課題発見
科学技術と「経営」の融合により、「理論」と「実践」の両面からイノベーションに係る課題を把握することができる。
- (2) 仮説設定
既存の科学技術研究の成果を基礎に、イノベーションに係る仮説を設定することができる。
- (3) 解決能力
技術開発から市場化へのプロセスにおける一連のイノベーション又は知的財産の創造、保護、活用を担うことができる。
- (4) 論証能力
イノベーションに係る課題の解決策を戦略的に提案することができる。
- (5) 国際的活躍能力
修得した高度な専門知識・深い学識及び卓越した能力をもとに、国際的な視野を持って活躍できる能力。

<博士後期課程>

イノベーション専攻においては、所定の期間在学し、以下の知識・能力を身に付け、所定の単位を修得し、且つ博士の学位論文の審査、試験、学力確認のための試問に合格した学生に対して修了を認定し、博士(技術経営)の学位を授与する。

- (1) 専門知識
技術経営と知的財産に関わる専門的な知見を応用性の高い実践知として体系化することで、高度に訓練された諸外国企業の専門経営者に伍して国際的な視野を持って活躍できる能力。
- (2) 研究能力
技術経営と知的財産に関わる研究を、柔軟な思考と深い洞察に基づいて、自ら課題を発見・設定し、グローバルな規模におけるイノベーションの推進に直結した独創的理論研究として深く掘り下げることができる能力。
- (3) 教育・社会貢献
研究開発の成果を、社会の要請に応じた産業成果として実現するために、企業等における技術経営と知的財産に関わるイノベーション教育指導を通じて社会貢献を行うことができる能力。

教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]

<専門職学位課程>

専門職学位課程においては、多様なバックグラウンドを持つ学生に対して、職業倫理を備え、高度専門職業人として課題を発見し解決へ導くことのできる人材を育成し、理論と実践の融合を図るために、学生固有の課題に対する個別指導を行う教育課程を編成する。

- (1) 「授業科目」では、より高度な専門的知識を身に付けるため、分野区分を設け重点的・効果的に科目を配置する。
- (2) 「演習科目」では、主・副指導教員の下に文献調査、企業訪問、各種インタビュー等などを実施し、調査・分析能力、問題発見能力、問題解決能力、構想力、プレゼンテーションおよび論文による表現能力を養成する科目を配置する。
- (3) 各専攻の専門性を発揮しつつ、専攻間の相互履修を可能とすることによって、専門性と幅広い視野・知識を効率的・効果的に修得できる教育課程を編成する。

<博士後期課程>

1. 技術経営専攻、知的財産戦略専攻での実践的教育研究を基盤に、研究開発の成果を産業成果

として実現するための技術経営と知的財産に関わる教育研究を行い、科学的知見を企業・産業の場で活かすための深い知を教育研究する場となる教育課程を編成する。

2. グローバルな規模におけるイノベーションの推進に直結した、応用性の高い実践知を体系化し、理論研究として深く掘り下げることの出来る高度の知見と能力を兼ね備えた、専門分野に関して自立した研究者又は高度職業人として、国内外で国際的な視野を持って活躍できる人材を育成する教育課程を編成する。
3. 教育研究分野は、社会的ニーズのコンセプトをプロトタイプとして具現化するプロセス、プロトタイプを市場で洗練し製品を社会に普及させていくプロセス、イノベーションの成果から上がる利益を知的財産により保護し有効利用するプロセス、に対応した教育研究分野領域を定め教育課程を編成する。

入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】

建学の精神と実力主義の伝統に基づく、本学の教育研究理念のもと、

1. 専門職学位課程においては、
 - (1) 専門分野で高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を身に付けようとする人。
 - (2) 専門分野で自ら課題を発見し解決する意欲のある人、高度職業人に必要な能力の修得を目指す人、主体的に多様な人々と協働して学習・研究を行う意欲のある人。
 - (3) 専門知識や学識及び能力をもとに、社会において国際的な視野を持って活躍しようとする意欲のある人。

を多様性の確保に重点を置き、大学での学修分野を問わず、優れた素質を有する人材を広く受け入れる多様な選抜方法により広く求める。

2. 博士後期課程においては、
 - (1) イノベーション研究科技術経営専攻あるいは知的財産戦略専攻等の専門職学位課程を修了し更なる技術経営あるいは知的財産戦略に関する研究を希望する人を求める。
 - (2) 理学、工学、経営学の各修士課程を修了後、企業で技術経営の実務に携わった社会人あるいは実際の企業経営において実績を積んだ経営者・管理者で高度な技術経営や知的財産戦略の体系的な研究を希望する人を求める。
 - (3) イノベーション研究科、技術経営専攻あるいは知的財産戦略専攻等の専門職学位課程を修了し、あるいは、理学、工学、経営学の各修士課程を修了後、企業で技術経営の実務に携わった社会人あるいは実際の企業経営において実績を積んだ経営者・管理者で、専門知識や教養をもとに、社会において国際的な視野を持ってグローバルに活躍しようとする意欲のある人を求める。